

—目次—

### トピックス

1. 車いすサミット in ニセコを終えて (2010 年 9 月 3 日～5 日)
2. イ・サンムク先生 講演会 (2010 年 9 月 21 日)
3. グローバルフェスタ 2010 年 in 日比谷公園(2010 年 10 月 3 日、4 日)
4. 「出会いが繋ぐ国際協力」障害と開発コーヒアワー報告 (2010 年 10 月 6 日)

### インフォメーション

1. 国連障害者の権利条約批准国情報 (2010 年 10 月 27 日現在)

### イベント情報

1. JANNET-世界銀行共催セミナー「デンマーク盲人協会」と途上国での支援(11 月 1 日)
2. 30 周年記念シンポジウム アジア共生社会を“紡ぐ” ACT (11 月 2 日)
3. 第 14 回糸賀一雄記念賞 第 2 回 糸賀一雄記念激励賞 受賞式(11 月 7 日)
4. AP CBR 会議 (11 月 13 日～15 日 開催国:マレーシア)
5. 第 21 回国際開発学会退会 (12 月 4 日、5 日)
6. 2010 年内閣府障害者週間セミナー (12 月 6 日)

「発展途上国の障害者の状況を知っていますか?—日本の民間を中心とする支援活動の紹介」

### トピック 1

#### 車いすサミット in ニセコを終えて

認定 NPO 法人「飛んでけ!車いす」の会 代表理事 柳生 一自

「飛んでけ!車いす」の会は札幌市を中心に活動する認定 NPO 法人です。1998 年設立以降、発展途上国を中心に、日本で使われなくなった車いすを旅行者が手荷物として利用者に送り届ける事業を続けてきました。これまで 12 年間で 1900 台の車いすを送り届けてきました。

去る 9 月 3-5 日に JANNET さんや同様に車いすを海外に送り届けている全 7 団体をお招きして北海道のニセコで「車いすサミット」を開催いたしました。開催の趣旨としては、同様の活動を続けている団体がそれぞれ工夫していることや困っていることを共有し解決へ向けて協力し合える点を見つけることです。

会では主に(1)車いすの整備、(2)フィッティング(体に合わせること)、(3)送り届けた車いすのフォローアップについて話題提供と話し合いを行いました。各団体で工夫されていること、また得意としている部分について積極的な発言をいただき大変盛り上がるものでした。特に(3)フォローアップについては

せっかく送った車いすが壊れたり、使われなくなったりしている報告などもあり、今後も各団体が協力して改善していく方向でまとめました。

参加者はスタッフを含めて40名ほどにもおよび、朝から夜まで語り合い充実した三日間になりました。会場はニセコアルペンホテルさんを使わせていただき、話し合い以外の時間もバーベキューを楽しんだり、温泉に入ったりとプライベートな交流も十分できたのではないかと思います。

最終日にいただいたご意見には「まだまだ話し足りなかった」とのご指摘もありました。運営の反省もありますが、むしろ今後さらに交流を発展させていく必要性を感じました。幸い2年後に東京での開催を検討していただけることになりましたので、まずは第一走者として役割を終え無事にバトンを手渡せたかと思えます。またお会いできることを楽しみにしております。



## トピック 2

### イ・サンムク先生講演会

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 硯川 潤

「韓国のホーキング」として話題の国立ソウル大学イ・サンムク準教授の講演会が、2010年9月21日に都内で開催されました。イ先生は地質学が専門の研究者として活躍されていましたが、2006年にアメリカでのフィールドワーク中に頸髄を損傷されました。受傷後、わずか半年で職場復帰され、現在もソウル大の教壇に立たれています。講演会では、障害者への高等教育支援に関する話題を中心に、イ先生が取り組まれているさまざまな支援プロジェクトについてお話し頂きました。以下、主な話題数点について報告します。

#### ・支援プロジェクトのねらい

イ先生がマスコミに注目された大きな要因として、韓国では頸髄損傷のような障害を負った人が元の職に戻ることが非常に少なく、病院や施設で過ごすケースが多いという事情があったそうです。このような現状を打破するために、障害を持っていてもこんなことができるんだという「ロールモデル」として、目標となる人物を育成することに力を入れられているとのことでした。

#### ・QoLTプロジェクト

イ先生がリーダーを務められているQoLT(Quality of Life Technology)プログラムが2010年6月から開

始されました。日本の経産省にあたる省が、年に1000万ドルを10年間供出する予定で、サムスンやヒュンダイといった韓国を代表する企業が支援技術の開発に取り組みます。一例として、まだ実用化されていない韓国語の音声認識技術の開発が紹介されました。

・ROPOS プロジェクト

もう一つの事例として、理工科系の障害者教育支援と支援技術の開発者育成を目的とした Realizing a Potential in Science というプログラムが紹介されました。難関の国立ソウル大への入学を支援するために、中学・高校から優秀な障害者を集めて理数教育を受けさせなければならないという、受験熱の高い韓国ならではの苦労があるそうです。障害者だからと言ってサイエンスへの道をあきらめることがあってはならないという、イ先生の教育者としての強い思いが感じられました。

## トピック 3

### グローバルフェスタ2010年 in 日比谷公園

個人(正会員) 柳原 典子

雨が心配されましたが、すばらしい天気にも恵まれた2日間でした。初日の朝、テントにたどり着き、ジャパンジャカルタ(J2)の小林さんとその仲間の方々に再会。とても懐かしく元気が沸いてきました。老人介護施設に勤める元学生たちが今年も参加してくれました。(3回目です)彼らの提案で始まった、「フィリピン・ネグロス島のニット製品販売」をがんばるためです。しかし、彼らは販売の協力だけでなく、さまざまな国際協力活動にも関心を持って見学したり、事務局の方やヘレンケラー協会の福山さんや、和田さん、J2の方たちと交流することを面白く感じているようです。夜勤明けでも埼玉からやってくるのですから、フェスタは大変魅力あるもののようです。

今回楽しかったことは、ジャネットの会員仲間の方と交流し、いろいろなお話ができたことです。メルガマで手に入っている情報も貴重なものですが、ライブでその会員の活動の話や、自分たちの活動に参考になることもありました。また、障害者福祉をめぐる情勢の話題も刺激になるものでした。テント内の交流はとてもよかったのですが、テントを訪れたお客さんはどうだったのかというと、昨年と比較して、販売品を求める人は多かったと思います。しかし、テントの中に入り、説明に耳を傾ける人は少なかったように思います。昨年は学生が多く来てくれました。展示の工夫が必要だったかと反省しています。そんな中、盲聾の重複障害の方が二日間私たちのテントを訪ねてくれたことが印象に残りました。障害を持った方たちにとっても、他国の障害者の生活を知るよい機会であることがわかり、障害を持った方もたくさんフェスタに集えたらいいなと思いました。

## トピック 4

### 「出会いが繋ぐ国際協力」障害と開発コーヒアワー報告

特定非営利活動法人 スーダン障害者教育支援の会 福地 健太郎

去る10月6日、JANNET・世界銀行・日本財団共催の「障害と開発のコーヒアワー」にて、スーダン現地視察報告の機会をいただきました。本視察プロジェクトは、日本財団「夢の貯金箱プロジェクト」の助成により、9月17日から27日にかけて実現したものです。

冒頭では、「スーダンの障害者が教育、就労、余暇等すべての面で、社会に完全に参加し、平等な生活を実現する」という会の目標と、それに対する基礎教育支援、情報教育支援、障害者スポーツの普及、内発的取り組みの促進という戦略を紹介しました。

報告では、基本的なスーダンの教育事情に加え、唯一機能している盲学校が1校であり、多くの視覚障害児は何の支援も受けずに学校に通わざるを得ないという現状を紹介しました。

一方で、日本ではあまり知られていない、パワフルな視覚障害者の一面もあります。大学に通う視覚障害者は1000名に上り、国会では2名の視覚障害の議員が活躍しているそうです。

今回私たちは、ハルツーム大学で進行中の音声パソコンの設置プロジェクト及びブラインドサッカー普及プロジェクトを視察しました。音声パソコン設置プロジェクトは、現地パートナーであるハルツーム大学障害を持つ卒業生の会と協力して行っています。2008年に、アラビア語音声ソフト搭載パソコンを5台設置し、以来、大学内外の80名の視覚障害者にパソコンの講習会を実施してきました。現地では、「自ら情報を集めてレポートを書けるようになった」という視覚障害学生の声を聞くことができました。嬉しいことに、他大学や他機関にも当プロジェクトをモデルにした取り組みが広がっています。

ブラインドサッカー普及プロジェクトでは、視覚障害者が、サッカーを通して家から出る機会を拡大し、パラリンピック出場といった人生の目標を得たという話を紹介しました。サッカーが大人気のスーダンで、今後のプロジェクトの展開が楽しみです。

会場からは、団体の中長期の戦略について、どのような人材が求められているのか、等の質問が寄せられ、活発な議論が展開しました。改めて、この機会をいただいた関係者の皆様にこの場をお借りして熱く御礼申し上げます。

\*\*\*\*\*

## インフォメーション

### 1. 国連障害者の権利条約国情報

( 関連サイト: <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/rights/right.html> )

1. アルジェリア	2. アルゼンチン	3. オーストラリア
4. オーストリア	5. アゼルバイジャン共和国	6. バングラディシュ
7. ベルギー	8. ボリビア	9. ボスニア・ヘルツェゴビナ
10. ブラジル	11. ブルキナファソ	12. カナダ
13. チリ	14. 中国	15. クック諸島
16. コスタリカ	17. クロアチア	18. キューバ
19. チェコ共和国	20. デンマーク	21. ドミニカ共和国
22. エクアドル	23. エジプト	24. エルサルバドル
25. フランス	26. ガボン	27. ドイツ
28. グアテマラ	29. ギニア	30. ハイチ
31. ホンジュラス	32. ハンガリー	33. インド
34. イラン	35. イタリア	36. ジャマイカ
37. ヨルダン	38. ケニア	39. ラオス
40. ラドビア	41. レソト	42. マラウイ
43. モルディブ	44. マリ共和国	45. モーリシャス
46. メキシコ	47. モンゴル	48. モンテネグロ



49. モロッコ	50. ナミビア	51. ネパール
52. ニュージーランド	53. ニカラグア	54. ニジェール共和国
55. オマーン	56. パナマ	57. パラグアイ
58. ペルー	59. フィリピン	60. ポルドガル
61. カタール	62. 韓国	63. ルワンダ
64. サンマリノ共和国	65. サウジアラビア	66. セルビア
67. セイシェル共和国	68. スロバキア	69. スロベニア
70. 南アフリカ	71. スペイン	72. スーダン
73. スウェーデン	74. シリア	75. タイ
76. チュニジア	77. トルクメニスタン	78. トルコ
79. ウガンダ	80. ウクライナ	81. イギリス
82. タンザニア連合共和国	83. ウルグアイ	84. バヌアツ共和国
85. イエメン	86. ザンビア	87. アラブ首長国連邦
88. エチオピア	89. マレーシア	90. リトアニア
91. アルメニア	92. ナイジェリア	93. モルドバ共和国
94. セネガル		

(2010年10月27日現在)

➤ 国連 批准国リスト(英語): <http://www.un.org/disabilities/countries.asp?navid=12&pid=166>

## イベント情報

### 1. JANNET-世界銀行共催セミナー 「デンマーク盲人協会」と途上国での支援

デンマークの政府開発援助により、デンマークの視覚障害者団体がモンゴル、ラオスを中心に途上国で実施してきた活動の紹介をします。

- ・日時 2010年11月1日(月) 18:30~20:30
- ・場所 世界銀行情報センター(PIC 東京 1階)
- ・スピーカージョン ハイランさん(デンマーク盲人協会副会長)  
ミケール・ベラーズ・マドセンさん(同プロジェクトコーディネーター)
- ・コーディネーター 田畑美智子さん
- ・問合せ先 世界銀行情報・センター(PIC 東京) E-mail: [ptokyo@worldbank.org](mailto:ptokyo@worldbank.org) Tel:03-3597-6650
- ・申込方法 世界銀行東京事務所ウェブサイト <http://www.worldbank.org/japan/jp> 上でお申し込み  
いただくか、お名前、ご所属、ご連絡先を「11月1日世銀JANNET共催研究会参加希望」と明記の上、  
[ptokyo@worldbank.org](mailto:ptokyo@worldbank.org) 宛にお送りください。使用言語は英語、日本語(同時通訳つき)、日本手話です。
- ・参加費 無料

### 2. 30周年記念シンポジウム アジア共生社会を“紡ぐ” ACT ～アジアの未来、コミュニティ型公益信託の役割～

- ・日時 2010年11月2日(火) 13:30~17:10 (会場 13:00~)
- ・場所 [JICA 研究所 国際会議場 \(2F\)](#) (東京都新宿区市谷本村町 10-5)
- ・参加費 無料
- ・申込方法 Eメールか FAX、郵送にて、「ご氏名」「ご連絡先住所・電話番号」「ご所属」を明記のうえ、下記事

務局までお申し込みください。(11月1日正午まで受付)

公益信託アジア・コミュニティ・トラスト事務局

〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-2-3 アジア文化会館 1F ACC21 内

TEL: 03-3945-2615 (10時~18時) FAX: 03-3945-2692 E-mail: [act-info@acc21.org](mailto:act-info@acc21.org)

<http://acc21.org/news/act30112.html>

### 3. 第14回糸賀一雄記念賞 第2回 糸賀一雄記念奨励賞 授賞式

- ・日時 2010年11月7日(日) 13:00~17:00 (開場 12:30~)
- ・授賞式 15:15~ 記念賞受賞者記念講演 琉球大学 教授 高嶺豊氏 (JANNET 個人会員)
- ・対談 16:00~  
「障害者権利条約について考える」 高嶺豊氏 琉球大学 教授 (JANNET 個人会員)  
長田こずえ氏 (予定) 国連ニューヨーク本部上席経済問題担当官 (JANNET 個人会員)
- ・場所 ピア淡海 ピアザホール (滋賀県大津市におの浜)
- ・お問合せ先 (財) 糸賀一雄記念財団事務局 TEL&FAX 0748-77-0357

### 4. AP CBR 会議

11月13日から15日まで、CBRガイドラインをアジア太平洋地域で開始する会議がマレーシアで開かれます。詳細は URL からご覧ください。

[http://www.normanet.ne.jp/~jannet/cbr\\_net/cbr\\_kaigi101113\\_15.html](http://www.normanet.ne.jp/~jannet/cbr_net/cbr_kaigi101113_15.html)

### 5. 第21回国際開発学会大会

- ・日時 2010年12月4日(土)、5日(日)
- ・場所 早稲田大学早稲田キャンパス大学院アジア太平洋研究会  
(19号館早稲田ビルディング <http://www.waseda.jp/gsaps/>)及び国際会議場)
- ・詳細 <http://www.jasid.org/conference/index.html>

### 6. 2010年内閣府障害者週間セミナー

「発展途上国の障害者の状況を知っていますか? - 日本の民間を中心とする支援活動の紹介」

- ・日時 2010年12月6日(月) 18:00~20:00
- ・場所 明治学院大学 (東京港区白金台 1-2-37)
- ・お問合せ先: 日本障害者リハビリテーション協会 国際部 上野  
Tel 03-5292-7628, Fax 03-5292-7630

JANNET事務局では、会員の皆様よりメールマガジンに掲載する国際活動に関する情報を募集しております。  
団体会員様のイベント情報などありましたら事務局までご連絡ください。

**JANNET** 障害分野 NGO 連絡会

〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1 財団法人日本障害者リハビリテーション協会内

【JANNET事務局直通】 TEL:03-5292-7628 FAX:03-5292-7630

Email: [eueno@dinf.ne.jp](mailto:eueno@dinf.ne.jp)

URL: <http://www.normanet.ne.jp/~jannet/>